

各 位

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
安全研究・防災支援部門
安全研究センター長 中村 武彦

令和2年度安全研究センター報告会の開催について（御案内）

拝啓 時下ますます御清栄のこととお慶び申し上げます。

安全研究センターの研究活動につきまして、日頃より御高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当センターでは、軽水炉利用に係るリスクの把握・定量化を図るため、燃料・炉から再処理・防災・環境に加えて、保障措置の範囲を含めた幅広い分野で安全研究を進めております。安全の継続的改善に着実に貢献するために常に質の高い研究を行うとともに、国立研究開発法人として研究成果の最大化を図る必要があります。その一助として、研究活動や成果を広く発信して皆様に御意見・御議論をいただくことにより、研究内容のさらなる充実を目指して参ります。本報告会は、私たちのそのような研究活動・成果を共有いただくための重要な機会ととらえております。

近年、安全研究の実施に際しては、原子力安全の視点でさまざまな現象を理解できる専門家の確保・育成が喫緊の課題であり、当センターでは、若手研究者の育成や技術の継承に向けた様々な取り組みを行っているところです。本報告会は、その様な当センターの人材マネジメント活動の一環として、彼ら若手研究者が企画するものです。

本年度は「原子力施設の安全・防災研究の今そしてこれからーリスク情報活用の強化を目指してー」と題するテーマで、リスク情報を活用した原子力施設の安全評価手法の開発、燃料デブリの臨界リスク評価、原子力防災に関する当センターの最新の研究成果を下記のとおり御紹介いたします。また、ポスターセッションでは各研究グループにおける研究内容に加えて、当部門の原子力緊急時支援・研修センターのトピックスについても御紹介いたします。さらに、本年度は原子力規制庁殿より、研究の近況を招待講演及びポスター発表においてご紹介いただきます。御多用な時期と存じますが、ぜひ御出席くださいますよう御案内申し上げます。

敬具

記

1. 開催日時 令和2年11月27日（金） 13:30－17:30
2. 開催場所 オンライン開催（ZOOM）
3. 内容 (1) 口頭発表5件（うち1件は招待講演）
(2) ポスターセッション
4. 申込方法 下記事務局宛に **E-mail** にて次の事項を記載の上、お申し込みください。
①氏名（ふりがな）、②勤務先・所属、③役職
お申し込みの方へウェビナーへの参加方法等を返信致します。
申込締切：令和2年11月25日（水）
5. 連絡先 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
安全研究センター報告会事務局
担当：扇柳、龍頭
Tel: 029-282-5942/5978, Fax: 029-282-5408
E-mail: NSRC2020FY@jaea.go.jp

以上

令和2年度 安全研究センター報告会 プログラム
原子力施設の安全・防災研究の今そしてこれからーリスク情報活用の強化を目指してー
国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構
安全研究・防災支援部門 安全研究センター

日時: 令和2年11月27日(金) 13:30-17:30
開催方式: WEB 開催 (ZOOM)

13:30 開会挨拶

理事・部門長 三浦幸俊

13:35 安全研究センターの概要

副センター長 丸山結

13:50 Development of a simulation-based dynamic PRA methodology
(シミュレーションに基づく動的PRA手法の開発)

シビアアクシデント研究グループ 鄭嘯宇

14:15 燃料デブリ臨界管理のための臨界リスク基礎データの整備・拡充

臨界安全研究グループ 荒木祥平

14:40 建屋の3次元詳細モデルを用いた耐震評価手法に関する研究

構造健全性評価研究グループ 崔炳賢

15:10 ポスターセッション

16:35 招待講演 緊急事態区分に対する炉心損傷以外の評価視点の検討

原子力規制庁 シビアアクシデント研究部門 小城烈

17:00 放射線防護対策を施した屋内退避施設における被ばく線量評価及び技術的知見の整備

リスク評価・防災研究グループ 石崎梓

17:25 閉会挨拶

副部門長・センター長 中村武彦

【安全研究センター】

熱水力安全研究グループ

- 熱水力安全研究グループの研究概要
- プールスクラビングによるエアロゾル除去効果実験と数値解析

燃料安全研究グループ

- 燃料安全研究グループの研究概要
- 反応度事故模擬実験で観察された添加物入り BWR 燃料の低破損限界と原因分析

シビアアクシデント研究グループ

- シビアアクシデント評価研究グループの研究概要
- リスク評価技術の高度化及びその不確かさの低減に向けて

リスク評価・防災研究グループ

- リスク評価・防災研究グループの研究概要
- 一般家屋での屋内退避による被ばく線量評価のための技術的知見の整備

材料評価研究グループ

- 材料評価研究グループの研究概要
- 原子炉圧力容器の劣化事象に関する研究

構造健全性評価研究グループ

- 内部事象を考慮した原子炉構造機器の健全性評価手法の高度化
- 外部事象を考慮した原子力施設の健全性評価手法の高度化

サイクル安全研究グループ

- サイクル安全研究グループの研究概要
- 再処理施設における蒸発乾固事故時の放射性物質移行研究
一廃液中の亜硝酸による揮発性ルテニウム化合物の放出抑制効果一

廃棄物・環境安全研究グループ

- 放射性廃棄物処分の安全性に関する研究概要
-人工バリアの性能評価、ボーリング孔の閉鎖確認に係る研究-
- Pu の石英への吸着モデルの実験的研究

臨界安全研究グループ

- 臨界安全研究グループの研究概要
- Consequence analysis of a postulated nuclear excursion
in BWR spent fuel pool using $1/f^{\beta}$ spectrum model of randomization

保障措置分析化学研究グループ

- 保障措置分析化学研究グループの研究概要
- LG-SIMS 装置のウラン粒子自動測定(APM)におけるミキシング効果の低減

【原子力緊急時支援・研修センター】

- モニタリングポスト建屋表面に付着した人工放射性核種による空間放射線量率測定値への影響推定
- 原子力災害時の環境放射線モニタリング - マッピング技術の確立と8年間の継続調査からの知見-

【原子力規制庁】

- 高燃焼度燃料被覆管中に析出した半径方向水素化物による
300°Cにおける巨視的な延性-脆性遷移に関する研究
- 震源を特定せず策定する地震動の標準応答スペクトルに関する研究